

6月定例会

6月13日(木)午後6:00より、川崎商工会議所会議室5にて、会員19名、オブザーバー1名、見学者2名の参加を得て開催した。

川崎市発達相談支援センター 阿佐野智明副所長を招き、「経営者として発達障害について知っておくべきこと」をテーマに、講演はすすめられた。

発達障害とは、発達障害の特徴、障害を持った人の生活、障害者雇用に関する制度などが説明された。

参加者は、簡単な仕事を与えればよいのではなく、ストレスの少ない環境づくりや適切な情報の入出力が肝要と学んだ。

その後、同所会議室6に場所を移して懇親会を行い、終

始和やかな雰囲気での親睦を深めた。



6月分科会

株式会社アスピレートシステムズ 寺本紳一代表取締役による「社業紹介」と株式会社クレール 安齋氏による「若手の紹介」がされた。

寺本代表取締役より、小規模な商品管理から大規模な物流システムまで広範囲にITで管理するシステム開発が述べられた。

安齋氏より、文系大学を卒業後、ものづくり企業に就職して3年経過するが、魅力ある製品づくりや効果的な情報発信に、探求の連続であると述べられた。

会員の社業を詳しく学ぶことで、相互の連携強化などにつながるため、今後も継続して企画したい。



社業紹介をする寺本代表取締役



社業紹介をする安齋氏

7月定例会 [暑気払い]

7月11日(木)午後6:30より、「屋形船たちばな(横浜)」にて、会員23名の参加を得て開催した。

神奈川新町から出船、原会長の挨拶、小林副会長の乾杯発声後、みなとみらいの夜景を眺めながら、各会員は終始和やかに親睦を深め、菅原副会長の中締めで、散会(桜木町と神奈川新町)となった。



7月分科会

7月3日(水)午後6:30より、中原市民館第一会議室にて、会員10名、見学者2名の参加を得て開催した。

允治社 泉貴嗣代表を招き、「行政によるCSR(企業の社会的責任)支援の動向」をテーマに、講演はすすめられた。

まず、「企業の社会的責任」の基本的理念と日本企業の実態に関して、事例を交えながらわかりやすく説明がされた。

次に、現在、埼玉で行政と企業を交えたCSR推進に携わっている経験から、行政が企業のCSRを推進する意義や問題点が解説された。

法令遵守、雇用確保などの基礎的な意味だけでなく、

企業が行政や地域と連携することが、環境改善や地域発展につながる、積極的なCSR活動と学んだ。



加入のお問い合わせは

事務局:麻生支所 TEL 044-952-1191